

※ 工学研究科（博士後期課程）機械宇宙工学専攻の収容数が収容定員を10%以上下回っている主な理由は、就職の好転に伴う博士前期課程からの進学者の減少があるとともに、企業における財政的余力がない等の理由により社会人志願者数が減少していることにある。

工学研究科では、教員による積極的な社会人入学制度のPR活動及び留学生勧誘用ポスターの海外協定校へ配布等のPR活動を行ってきた。また、博士後期課程学生へ、博士後期課程へ入学した学生への給付「就学スタートアップ支援奨学金」、私費外国人留学生への給付「教育研究活動助成基金」、優秀学生への給付「大学エンカレッジファンド」等、経済的な支援を行ってきた。また、平成30年度に持続性社会創生科学研究科工学専攻（博士前期課程）を1年又は1年半で修了し、博士後期課程へ進学できる早期修了制度を設け、平成30年度、令和元年度、令和3年度に各1名の進学があり、今後も期待される。

なお、工学研究科（博士後期課程）は、「教育の見直し」、「アンケート調査に基づいた定員規模の適正化」を行うとして令和4年4月に改組することを令和3年7月に文部科学省に認められた。また、併せて地元の企業や自治体からも入学がしやすいように「学修証明プログラム」の新設、学生への経済的支援「大学エンカレッジファンド」に「社会人を対象とした特別枠」を加えるなど、収容数の適正化に向けた取り組みを行っている。

※ 附属小学校の収容数が収容定員を10%以上下回っている主な理由は、

- ・3年次児童数が48名（充足率68%）と低い点にある。この年の入学者数が極端に低かった原因は不明。
- ・4年次も転出等で61名（充足率87%）とやや低くなっている。
- ・Webサイトの充実等で対応し、1・2年生は69名・68名と回復した。
- ・転出に比べ転入が少ないため、年次が進むに従い、減少する傾向にある。

上記に対する対応として、Webサイト等を活用し、本校の魅力を発信することにより、志願者を増やし、募集人数以上の者を合格とする等を実施している。

※ 附属幼稚園の収容数が収容定員を10%以上下回っている主な理由は以下のとおりである。

- ・全国的な問題でもあるが、鳥取県でも少子化が進み出生率が減少しており、それに伴い、入園する園児数も減少している。
- ・預かり保育の時間延長や給食の提供など可能な限り保護者のニーズに合うよう対応しているが、保護者の共働きが多いこともあり、保育時間の長い保育園が選ばれ、近隣の保育園に園児が流れている。令和3年3月鳥取県教育委員会教育総務課の「とっとりの教育データ」によると、小学校一年生に占める幼稚園修了者と保育所修了者の割合は、幼稚園が16.7%、保育所が73.3%である。

- ・幼児教育の研究等に取り組む本園では、Webサイトや冊子でそのことをPRしているが、保護者の多くは教育よりお稽古事や保育に重点を置いており、そういう園に人気が集まっているのが実情である。
- ・懇話会活動が盛んであることも入園希望者の不安材料となっている。平日に仕事を休む必要があることは、現在の家庭状況にはそぐわないと考える。
- ・中国地区の附属幼稚園の現状を調査したところ、定員を充足している園は、幼・小・中の連絡入学となっている。連絡入学がない山口大附属も同様に園児数は減少状況にある。

令和3年度も昨年度同様志願者増加に向け以下の取組を行っている。

- ① 園児募集要項において、園見学と募集説明会参加を任意としたり、Webサイトから必要書類がダウンロードできるようにしたりして、保護者の時間的な制約の軽減を図った。
- ② 園の特徴や長所等を記載した園児募集ポスターを作成し、多くの箇所に掲示した。同様のチラシも作成し子育て支援サークル等に配布した。
- ③ 本園子育て支援の取り組み実施時間を午前に変更したところ、多くの未就園児（0～3歳）の参加があった。
- ④ 今年度からの給食完全実施（週2日から週5日に変更）や預かり保育実施時間変更等について附属小学校保護者や近隣公民館（親子教室）等に知らせるチラシを配布した。
- ⑤ 遊びの充実と保護者支援のため、国立大学附属幼稚園としては珍しく長期休業中（夏季、冬季、学年末、学年始）における保育を実施した。
- ⑥ 預かり保育（昨年度から平日18時まで）の実施をはじめ、子育て支援の充実を図った。
- ⑦ 最新の情報を掲載するホームページ更新に努め、多くの問い合わせがあった。HPのデザインも大きく刷新し、園児の生き生きとした表情をWebサイトに表示されるようにした。
- ⑧ 懇話会活動の見直しを行った。令和3年度は、平日の会合を極力減らした。令和4年度に向けて学年役員をなくすなど大幅な組織改編を行っている。

## ○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(平成28年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち									超過率算定 の対象となる 在学者数 (L) 【(B)-(D,E,F,G,I,Kの合 計)】	定員超過率 (M) (L)/(A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)	長期 履修 学生数 (J)	長期履修 学生に係る 控除数 (K)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)							
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
地域学部	760	865	6	0	0	0	25	34	25	0	0	815	107.2%
医学部	1,309	1,338	0	0	0	0	26	35	33	0	0	1,279	97.7%
工学部	1,800	1,996	7	0	4	0	25	142	129	0	0	1,838	102.1%
農学部	1,010	1,059	1	0	0	0	25	38	36	0	0	998	98.8%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
持続性社会創生科学研究科													
医学系研究科	250	316	4	2	0	0	30	57	44	3	1	239	95.6%
工学研究科	369	403	10	2	0	0	14	31	21	9	3	363	98.4%
連合農学研究科	51	79	37	19	2	0	10	17	10	5	2	36	70.6%
共同獣医学研究科													

## ○計画の実施状況等

定員超過率が110%以上の学部及び研究科はありません。

- (1) 収容定員に関する計画の実施状況(各年度5月1日現在、学校基本調査と同数)を記載してください。
- (2) 学部・研究科の内訳(学科、専攻等毎)は記載しないでください。
- (3) 平成31年4月現在の中期目標別表に記載されている教育研究組織毎に中期計画に記載されている収容定員の状況を平成28～31年度の年度毎に作成してください。
- (4) 大学間交流協定等に基づく留学生等数(F)欄には、大学間交流協定等(学部間交流協定、研究科間交流協定)に基づく私費外国人留学生及び留学生のための特別コースに在籍する私費外国人留学生の合計数を記入してください。
- (5) 各年度において定員超過率(M)110%の学部、研究科等がある場合、それぞれの学部、研究科等ごとにその主な理由を年度毎に記載してください。
- (6) 学年進行中の学部・研究科等については、収容定員(A)欄は、中期計画に記載されている収容定員ではなく、入学定員に学年進行中の年次を乗じた数を記入してください。

## ○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(平成29年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち									超過率算定 の対象となる 在学者数 (L) 【(B)-(D,E,F,G,I,Kの合 計)】	定員超過率 (M) (L) / (A) × 100	
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)	長期 履修 学生数 (J)	長期履修 学生に係る 控除数 (K)			
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留 学生数 (E)	大学間交流 協定等 に基づく 留学生等 数(F)								
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
地域学部	740	848	4	0	0	0	14	42	36	0	0	798	107.8%	
医学部	1,299	1,326	0	0	0	0	24	29	25	0	0	1,277	98.3%	
工学部	1,800	1,941	9	0	5	0	38	91	71	0	0	1,827	101.5%	
農学部	1,030	1,087	1	0	0	0	21	33	27	1	1	1,038	100.8%	
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
持続性社会創生科学研究科	251	265	10	1	0	0	2	0	0	1	1	261	104.0%	
医学系研究科	250	327	3	2	0	0	55	67	47	5	2	221	88.4%	
工学研究科	216	227	10	0	0	0	15	33	19	10	4	189	87.5%	
連合農学研究科	51	82	44	21	3	0	10	16	11	5	2	35	68.6%	
共同獣医学研究科														

## ○計画の実施状況等

定員超過率が110%以上の学部及び研究科はありません。

- (1) 収容定員に関する計画の実施状況(各年度5月1日現在、学校基本調査と同数)を記載してください。
- (2) 学部・研究科の内訳(学科、専攻等毎)は記載しないでください。
- (3) 平成31年4月現在の中期目標別表に記載されている教育研究組織毎に中期計画に記載されている収容定員の状況を平成28～31年度の年度毎に作成してください。
- (4) 大学間交流協定等に基づく留学生等数(F)欄には、大学間交流協定等(学部間交流協定、研究科間交流協定)に基づく私費外国人留学生及び留學生のための特別コースに在籍する私費外国人留學生の合計数を記入してください。
- (5) 各年度において定員超過率(M)110%の学部、研究科等がある場合、それぞれの学部、研究科等ごとにその主な理由を年度毎に記載してください。
- (6) 学年進行中の学部・研究科等については、収容定員(A)欄は、中期計画に記載されている収容定員ではなく、入学定員に学年進行中の年次を乗じた数を記入してください。

## ○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(平成30年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち									超過率算定 の対象となる 在学者数 (L) 【(B)-(D,E,F,G,I,Kの合 計)】	定員超過率 (M) (L)÷(A)×100	
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)	長期 履修 学生数 (J)	長期履修 学生に係る 控除数 (K)			
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)								
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
地域学部	720	822	6	0	1	0	28	38	30	0	0	763	106.0%	
医学部	1,299	1,332	1	0	0	0	26	39	33	0	0	1,273	98.0%	
工学部	1,800	1,930	14	0	9	0	35	85	77	0	0	1,809	100.5%	
農学部	1,050	1,089	3	0	0	0	15	20	18	1	1	1,055	100.5%	
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	
持続性社会創生科学研究科	502	552	27	4	0	0	12	0	0	2	1	535	106.6%	
医学系研究科	250	310	6	2	1	0	38	59	33	10	4	232	92.8%	
工学研究科	63	49	5	0	0	0	6	15	7	8	4	32	50.8%	
連合農学研究科	53	97	50	19	4	0	9	12	5	5	2	58	109.4%	
共同獣医学研究科														

## ○計画の実施状況等

定員超過率が110%以上の学部及び研究科はありません。

- (1) 収容定員に関する計画の実施状況(各年度5月1日現在、学校基本調査と同数)を記載してください。
- (2) 学部・研究科の内訳(学科、専攻等毎)は記載しないでください。
- (3) 平成31年4月現在の中期目標別表に記載されている教育研究組織毎に中期計画に記載されている収容定員の状況を平成28～31年度の年度毎に作成してください。
- (4) 大学間交流協定等に基づく留学生等数(F)欄には、大学間交流協定等(学部間交流協定、研究科間交流協定)に基づく私費外国人留学生及び留学生のための特別コースに在籍する私費外国人留学生の合計数を記入してください。
- (5) 各年度において定員超過率(M)110%の学部、研究科等がある場合、それぞれの学部、研究科等ごとにその主な理由を年度毎に記載してください。
- (6) 学年進行中の学部・研究科等については、収容定員(A)欄は、中期計画に記載されている収容定員ではなく、入学定員に学年進行中の年次を乗じた数を記入してください。

## ○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(令和元年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち									超過率算定 の対象となる 在学者数 (L) 【(B)-(D,E,F,G,I,Kの合 計)】	定員超過率 (M) (L) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)	長期 履修 学生数 (J)	長期履修 学生に係る 控除数 (K)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留学 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)							
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
地域学部	700	795	8	0	1	0	15	44	30	0	0	749	107.0%
医学部	1,297	1,337	1	0	0	0	31	34	29	0	0	1,277	98.5%
工学部	1,800	1,924	17	0	9	0	40	82	71	0	0	1,804	100.2%
農学部	1,070	1,116	3	0	0	0	9	29	22	1	1	1,084	101.3%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
持続性社会創生科学研究科	502	578	32	6	0	0	10	30	30	3	2	530	105.6%
医学系研究科	250	284	5	2	0	0	32	82	59	11	4	187	74.8%
工学研究科	63	49	5	1	0	0	8	13	9	9	4	27	42.9%
連合農学研究科	55	102	51	19	0	0	5	27	20	5	2	56	101.8%
共同獣医学研究科	5	7	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6	120.0%

## ○計画の実施状況等

※共同獣医学研究科の定員超過率が110%の主な理由は、4年後の設置完了年度において収容定員を下回らないよう、積極的に学生募集を行ったため。

- (1) 収容定員に関する計画の実施状況(各年度5月1日現在、学校基本調査と同数)を記載してください。
- (2) 学部・研究科の内訳(学科、専攻等毎)は記載しないでください。
- (3) 平成31年4月現在の中期目標別表に記載されている教育研究組織毎に中期計画に記載されている収容定員の状況を平成28～31年度の年度毎に作成してください。
- (4) 大学間交流協定等に基づく留学生等数(F)欄には、大学間交流協定等(学部間交流協定、研究科間交流協定)に基づく私費外国人留学生及び留学生のための特別コースに在籍する私費外国人留学生の合計数を記入してください。
- (5) 各年度において定員超過率(M)110%の学部、研究科等がある場合、それぞれの学部、研究科等ごとにその主な理由を年度毎に記載してください。
- (6) 学年進行中の学部・研究科等については、収容定員(A)欄は、中期計画に記載されている収容定員ではなく、入学定員に学年進行中の年次を乗じた数を記入してください。

## ○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(令和2年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち									超過率算定 の対象となる 在学者数 (L) 【(B)-(D,E,F,G,I,Kの合 計)】	定員超過率 (M) (L)/(A)×100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)	長期 履修 学生数 (J)	長期履修 学生に係る 控除数 (K)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留学 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)							
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
地域学部	680	751	9	0	1	0	11	30	21	0	0	718	105.6%
医学部	1,294	1,337	0	0	0	0	20	40	35	0	0	1,282	99.1%
工学部	1,800	1,927	15	0	8	0	23	84	77	0	0	1,819	101.1%
農学部	1,090	1,144	1	0	0	0	16	23	18	1	1	1,109	101.7%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
持続性社会創生科学研究科	502	531	33	5	0	0	7	6	6	4	3	510	101.6%
医学系研究科	242	279	7	2	0	0	51	33	21	12	8	197	81.4%
工学研究科	63	57	6	2	0	0	6	7	2	11	7	40	63.5%
連合農学研究科	57	102	32	13	0	0	8	13	7	6	4	70	122.8%
共同獣医学研究科	10	12	2	1	0	0	0	0	0	1	1	10	100.0%

## ○計画の実施状況等

\*連合農学研究科の定員超過率が110%の主な理由は、「外国人留学生優先配置を行う特別プログラム」及び「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)」による留学生が多数在籍したため。

- (1) 収容定員に関する計画の実施状況(各年度5月1日現在、学校基本調査と同数)を記載してください。
- (2) 学部・研究科の内訳(学科、専攻等毎)は記載しないでください。
- (3) 令和3年4月現在の中期目標別表に記載されている教育研究組織毎に中期計画に記載されている収容定員の状況を平成28～令和3年度の年度毎に作成してください。
- (4) 大学間交流協定等に基づく留学生等数(F)欄には、大学間交流協定等(学部間交流協定、研究科間交流協定)に基づく私費外国人留学生及び留学生のための特別コースに在籍する私費外国人留学生の合計数を記入してください。
- (5) 各年度において定員超過率(M)110%の学部、研究科等がある場合、それぞれの学部、研究科等ごとにその主な理由を年度毎に記載してください。
- (6) 学年進行中の学部・研究科等については、収容定員(A)欄は、中期計画に記載されている収容定員ではなく、入学定員に学年進行中の年次を乗じた数を記入してください。

## ○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(令和3年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち									超過率算定 の対象となる 在学者数 (L) 【(B)-(D,E,F,G,I,Kの合 計)】	定員超過率 (M) (L) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)	長期 履修 学生数 (J)	長期履修 学生に係る 控除数 (K)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)							
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
地域学部	680	731	9	0	3	0	12	18	13	0	0	703	103.4%
医学部	1,293	1,347	0	0	0	0	23	48	44	0	0	1,280	99.0%
工学部	1,800	1,939	9	0	4	0	35	81	71	0	0	1,829	101.6%
農学部	1,090	1,137	2	0	0	0	11	30	25	1	1	1,100	100.9%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
持続性社会創生科学研究科	502	551	28	8	0	0	6	12	11	8	5	521	103.8%
医学系研究科	234	281	7	2	0	0	42	28	18	10	7	212	90.6%
工学研究科	63	58	6	2	0	0	6	11	7	8	5	38	60.3%
連合農学研究科	57	94	18	12	0	0	8	13	11	5	3	60	105.3%
共同獣医学研究科	15	15	2	1	0	0	2	0	0	2	1	11	73.3%

## ○計画の実施状況等

定員超過率が110%以上の学部及び研究科はありません。

- (1) 収容定員に関する計画の実施状況(各年度5月1日現在、学校基本調査と同数)を記載してください。
- (2) 学部・研究科の内訳(学科、専攻等毎)は記載しないでください。
- (3) 令和3年4月現在の中期目標別表に記載されている教育研究組織毎に中期計画に記載されている収容定員の状況を平成28～令和3年度の年度毎に作成してください。
- (4) 大学間交流協定等に基づく留学生等数(F)欄には、大学間交流協定等(学部間交流協定、研究科間交流協定)に基づく私費外国人留学生及び留学生のための特別コースに在籍する私費外国人留学生の合計数を記入してください。
- (5) 各年度において定員超過率(M)110%の学部、研究科等がある場合、それぞれの学部、研究科等ごとにその主な理由を年度毎に記載してください。
- (6) 学年進行中の学部・研究科等については、収容定員(A)欄は、中期計画に記載されている収容定員ではなく、入学定員に学年進行中の年次を乗じた数を記入してください。